

尾之上准教授が日本教育心理学会優秀論文賞を受賞



本学教育学部教育臨床心理講座の尾之上高哉准教授が、日本教育心理学会優秀論文賞を受賞した。当該年度の機関誌『教育心理学研究』に掲載された論文「ブロック練習と交互練習の単独効果と複合効果の比較検討—学習内容の定着度、及び、確信度判断の正確性に着目して—」（共著）が、同機関誌に発表された全論文のうち、特に優秀な論文として選出されたもの。

著書 : 尾之上 高哉・井口 豊

論文 : ブロック練習と交互練習の単独効果と複合効果の比較検討
—学習内容の定着度、及び、確信度判断の正確性に着目して—

掲載誌 : 教育心理学研究 2020 年 68 巻 2 号